

# こんにちは 松坂みち子 です



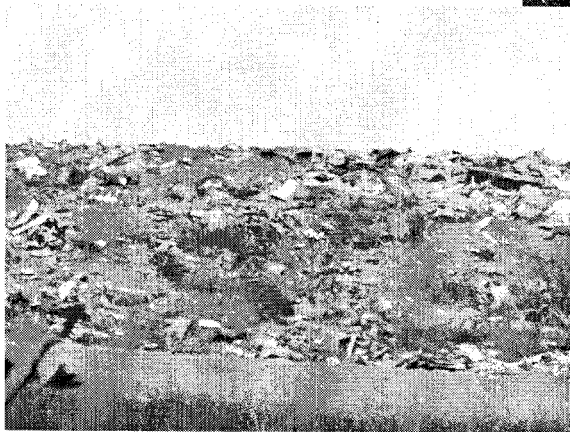
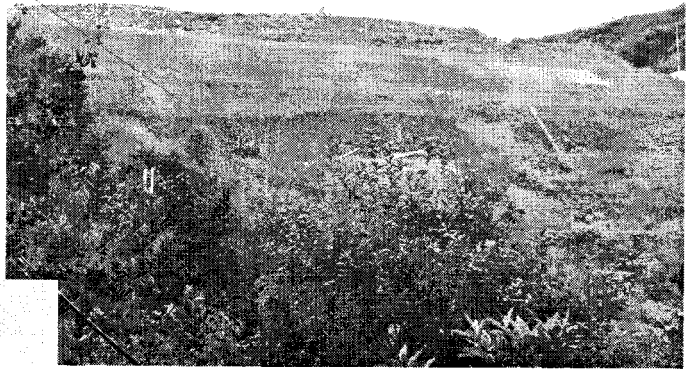
日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告

< No.45 2011. 9. 4 > 連絡先 402-1622

## 産廃でできた山

奈良県の産廃処分場を見てきました。写真正面の平たい山が産廃を埋めることによってできた山。てっぺんをズームで写したのが下の写真です。捨てられた産廃があらわになっています。

元々は、手前の木よりも低い畑だったとか。夏でも涼しい山あいの、見晴らしの良かったはずの別荘地の目



の前にできた産廃の山。別荘は主を待ちわびながら、廃墟となっていました。

和歌山市北東部、滝畑地域に産廃の処分場をつくる計画があります。自然を壊し、環境を壊す処分場をつくらせてはいけなしの思いを強くしました。

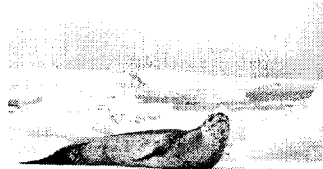
### みち子のひとりごと 映画

テレビで映画の宣伝を見ました。「ライフラインのちをつなぐ物語」です。冒頭の9分間をテレビ放映していました。

アザラシの母親が見渡す限りの雪原で出産をしています。天敵がいなからという理由でそういう場所を選ぶのだそうです。しかし、そこには食料はありません。マイナス30度という吹雪も吹き荒れます。母親は自分のかけに赤ん坊をおいて寒風に耐え、鼻で氷を割って海にもぐり、食料を得ます。

自然の中で動物たちがどのようにして生きていくのか、命をつないでいるのか、何年もかけて撮ったネイチャードキュメンタリーです。

「生きる」ことを伝えてくれる映画でしょう。9月1日(木)に公開されます。時間を見つけて、ぜひ見に行きたいと思えます。



# こんにちは ふじい健太郎です

8月28日、福井原発の見学バスツアーに参加しました。福井原発は発電炉13基、研究用の高速増殖炉1基の合計14基、さらに新増設計画2基、廃炉中が1基と、

まさに原発銀座の名にふさわしい原発立地県です。

見学したのは、

①敦賀市にある日本原書力発電敦賀原発1号機・2号機（いずれも

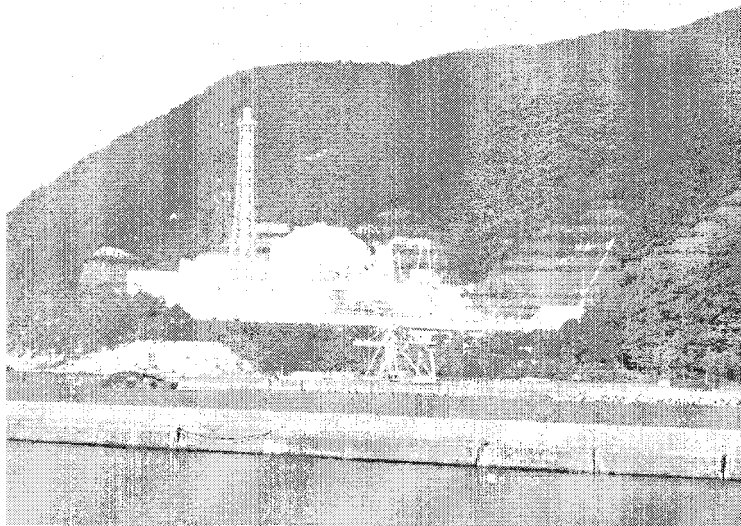
定期検査と事故で停止中、1号機は

大阪万博に初送電した国内最老朽炉）、

②美浜町の関西電力美浜原発1・2・3号機（いずれも稼働35〜40年の老朽炉、3号機

はナトリウム漏れで死亡事故を起こしている、1・3号機は定期点検中）、

③敦賀市の日本原子力開発機構高速増殖炉もんじゅ（事故で停止中の3か所です。

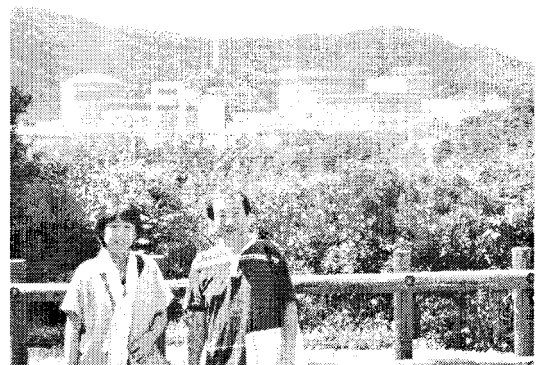


高速増殖炉もんじゅ 手前右側には海水浴場がある  
(もんじゅには安全に停止させておくだけで、  
年間200億円1日5500万円の経費がかかっている)

もんじゅには安全に停止させておくだけで、年間200億円1日5500万円の経費がかかっている

原施設内への立ち入りは許可されず、PR館での説明と外観の見学でしたが、事故が多いこと、安全対策に追われていることなどを含め、勉強になりました。

原発を背景とした白砂青松の海水浴場では多くの家族連れや若者が楽しんでいましたが、観光地の風景としてはなにか異様なものを感じたのはわたしだけでしょうか。



バックが敦賀原発 左の屋根の丸い建物から右へ順に1・2・3号機



**9月市議会が始まります。**

**9月9日から、一般質問は12日の週の予定です。**

**日程が決まったら、改めてお知らせします。**